学校番号	3022

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	７実教「304 最新政治・経済」						
副教材等	第一学習社「最新　政治・経済資料集」 とうほう「倫理・政経/現社 の整理と演習」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済は暗記科目ではない。社会の諸課題に対して積極的に追究する態度や主体的に判断する力を養い、主権者としての政治的・経済的教養を獲得して欲しい。

２　学習の到達目標

現代の政治や経済についての客観的知識を獲得するのみならず、社会の諸課題に対して積極的に追究する態度や主体的に判断する力を培う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を意欲的に追究する態度を身につけている。 国家社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、その課題の本質や望ましい解決の在り方などについて、広い視野に立って多面的多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえながら公正に判断している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、且つ集めた情報を主体的に選択し効果的に活用している。 学習を通して追究した過程や結果を、的確に表現することが出来る。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	経済1	1)経済社会の変容 1. 資本主義経済の成立と発展 2. 現代の資本主義経済 2)現代経済のしくみ 1. 経済主体と市場の働き 2. 企業の役割 3. 国民所得 4. 経済成長と国民の福祉 5. 金融の役割 6. 日本銀行の役割 7. 財政の役割と租税 8. 日本の財政の課題	○	○	○	○	d資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解したか。 a 市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事柄に対する理解したか。 c バブル崩壊と金融、財政の課題などを理解させ、租税の意義も考察したか。 b 日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察したか。	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 小テスト
1学期後半	経済2	1)現代の日本経済と福祉の向上 1. 戦後復興から高度経済成長へ 2. 安定成長からバブル経済へ 3. 転機にたつ日本経済 4. 中小企業と農業 5. 消費者問題 6. 公害防止と環境保全 7. 労働問題と労働者の権利 8. こんにちの労働問題 9. 社会保障の役割 2)現代の国際経済 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 国際経済の動向(1) 5. 国際経済の動向(2) 6. 発展途上国の諸問題 7. 経済協力と日本の役割	○	○	○	○	a バブルとその崩壊後の不況、という現状に至る日本経済の流れを理解したか。 d 経済成長や景気変動、金融・財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に把握したか。 b 公害や労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について理解したか。 d 貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を理解したか。 c 戦後の国際経済の流れを踏まえ、地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済を取り巻く課題を理解したか。	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 小テスト

2学期前半	政治1	1)現代国家と民主政治 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界のおもな政治制度 2)憲法と基本的人権 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本原理 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権の広がりと公共の福祉	○	○	○	○	d 人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について理解させる。 a 日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原理を把握させる。 c 日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。 b 現代日本の人権状況について考察する。	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 小テスト
2学期後半	政治2	1)日本の政治制度と政治参加 1. 政治機構と国会 2. 内閣と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と民主政治 2)現代の国際政治 1. 国際社会と国際法 2. 国際社会の変化 3. 国際連合と国際協力 4. 第二次世界大戦後の国際政治 5. 冷戦終結後の国際政治 6. 軍拡競争から軍縮へ 3)日本の平和主義と国際平和 1. 平和主義と自衛隊 2. 日米安全保障体制の変化 3. 21 世紀の平和主義 4. 日本の外交と国際社会での役割	○ ○	 ○ ○	 ○	○	d 国会、内閣、裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について理解したか。 a 日本の政党政治や選挙制度の特質を把握させるとともに、望ましい政治や参政のあり方について理解したか。 b 国際社会や国際法に関する基本的な理解を深め、国連をはじめ国際機関の役割について理解したか。 c 戦後の国際政治の動向を概観し、現代の地域紛争や軍縮問題，難民問題などを理解したか。 a 日本国憲法における平和主義の意義と冷戦終結後の日本の安全政策のあり方を考察したか。 b 国際平和や人類の福祉に寄与する日本の役割について考察したか。	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 小テスト

3学期	現代社会の諸課題	現代社会の諸課題	○	○			a 地域社会の変貌と住民生活、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、雇用と労働をめぐる問題、少子高齢社会と社会保障から、自由に取り上げた課題について追究する学習を行ったか。 b 地球環境問題、地球環境と資源・エネルギー問題、人種・民族問題、経済格差の是正と国際協力、国際社会における日本の立場と役割から、自由に取り上げた課題について追究する学習を行ったか。	ﾜｰｸｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。